

有限会社カナディアンキャンプ乗馬クラブ

需要獲得

サービス

福岡県宗像市

馬が持つ潜在力を新たなビジネスにつなげ 外乗ツアーや牧場開設で観光産業への活用を目指す

乗用馬の生産・販売・育成・調教、馬術レッスン・野外乗馬・ライセンス取得などの事業を行う。2003年以降、北海道（現在は独立）、八ヶ岳（山梨県）、神戸へも事業を広げ、会員数は全国1,300人超。乗馬愛好家のネットワークを活かし、企業研修や、ふるさと納税、情操教育やホースセラピーなど、馬が持つ潜在力を新たなビジネスの開拓に繋げている。昨年、引退競走馬や老馬の養老・保養所として、世界遺産登録で注目を集める宗像市の離島、大島に牧場を開設。観光産業への活用、離島振興を目指している。

所在地 福岡県宗像市神湊44番地1
電話/FAX 0940-62-1912/0940-62-0012
URL <http://www.canacan.jp>
代表者 代表取締役 山口 信介

設立 1988年
資本金 300万円
従業員数 11人



海外の乗馬クラブとも連携、人材交流により互いの技術向上を図る

旅行会社と連携し、馬に乗ることを主目的とした海外乗馬ツアーを毎年複数回企画、各地の気候のよい時期に開催。初夏のモンゴルツアーは、現地スタッフのこころ配りのある対応やよく調教された馬の体験ほか、冬のニュージーランドツアーは、海・山・林と変化に富んだ豊かな自然を堪能できるなど、日本では体験できない環境での乗馬・食事・観光が非常に好評である。また、カナダの乗馬クラブとも交流があり、カナダの乗馬オフシーズンに研修生を受け入れることで、人材交流や技術向上に取り組んでいる。



モンゴルでのツアー

地域資源を活用した「外乗ツアー」が新たな地域資源に

高価格帯の宿泊施設と提携した乗馬体験宿泊プランや、海岸、世界遺産、道の駅、グルメなど地域資源を活かした「外乗ツアー」を企画。乗馬を嗜む高所得者層を県外から呼び込み、市内経済の活性化に繋げている。ビーチライディングツアーで冬の海岸を馬が列をなして疾走する光景は、新たな地域資源となり、さらに人を呼び込み経済の循環に繋がっている。また、離島に開設した牧場では、馬の保養地としてを預託馬事業を行うとともに、島の観光資源として活用するなど、乗馬産業で離島振興に貢献している。



ビーチライディングは冬の風物詩に

資源の循環から観光へ展開、インバウンドツアーの獲得

臭いも少なく上質な堆肥になる馬糞を近隣住民に無償で提供。周辺住民とも良好な関係を築いている。大島牧場では、一面の花畑をつくるべく馬糞を活用した土壌改良を試行中。花畑を観光資源として活用することで、資源の循環から観光への展開、集客へ繋げる。また、流蹄馬同好会を発足。伝統技能の継承とスポーツ流蹄馬の普及に尽力するとともに、インバウンド客の獲得にも繋げ、例年アメリカ・ヨーロッパから“サムライツアー”と称してグループ客（10人程度）で来日するなど固定客もついている。



流蹄馬の様子

需要獲得

サービス